

## まえがき

国立国語研究所日本語教育基盤情報センター学習項目グループでは、現在、調査研究事業「日本語教育における学習項目一覧と段階的目標基準の開発」（平成18年度～22年度）に取り組んでいます。これは、在住外国人が日本社会の一員として地域社会に生きるために必要な日本語能力とは何かを明らかにし、その結果を日本語教育諸機関、日本語教育関係者に利用しやすい形で提供することを目指したプロジェクトです。

このプロジェクトの3年目にあたる平成20年度（2008年度）は、「日本語教育における学習項目一覧と段階的目標基準（生活のための日本語）」モデル案の作成を目指し、当グループがこれまでに収集した国内外の移民等に対する自国語（移動先言語）教育内容の比較対照、生活のための日本語やコミュニケーション能力に関わる先行研究の分析を行ってきました。並行して、国内在住外国人の日本語使用に関わる実態調査及びニーズ調査を行いました。

本書には、その成果として、「生活のための日本語」の枠組みを示し、その主たる構成要素の一覧を収録しました。今後、さらなるデータ収集と分析を進め、枠組みの見直しと構成要素の整備を行っていく予定です。

本報告書が、「生活者」にとって必要な日本語とは何か、を検討するための資料として、広く活用していただければ幸いです。

平成21年3月

独立行政法人国立国語研究所  
日本語教育基盤情報センター  
学習項目グループ長  
金田 智子